NASTA 換気ユニット　KS-VTE100
工事説明書

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⊘	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■仕様変更・改造は絶対にしない

火災・感電・けがの原因となります。

分解禁止

■交流100ボルト以外で使用しない

火災・感電の原因となります。

禁止

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因となります。

⚠注意

■浴室など、湿気の多いところに取り付けない

感電や故障の原因となります。

水場使用禁止

■部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実におこなう

誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

お願い

■高温になる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けないでください。

製品の変形やモーターの寿命を縮めます。

■台所など、油煙の発生する場所や有機溶剤がかかる場所に取り付けないでください。

ルーバーなどの破損の原因となります。

■アルミフレキダクトには取り付けないでください。

やむを得ない場合は、取り付け時、ダクトの変形、羽根あたりに十分注意してください。

■給気口を設けてください。

効果的な換気ができません。

■次のような配管工事はしないでください。

壁埋込パイプを室内側に傾斜させる

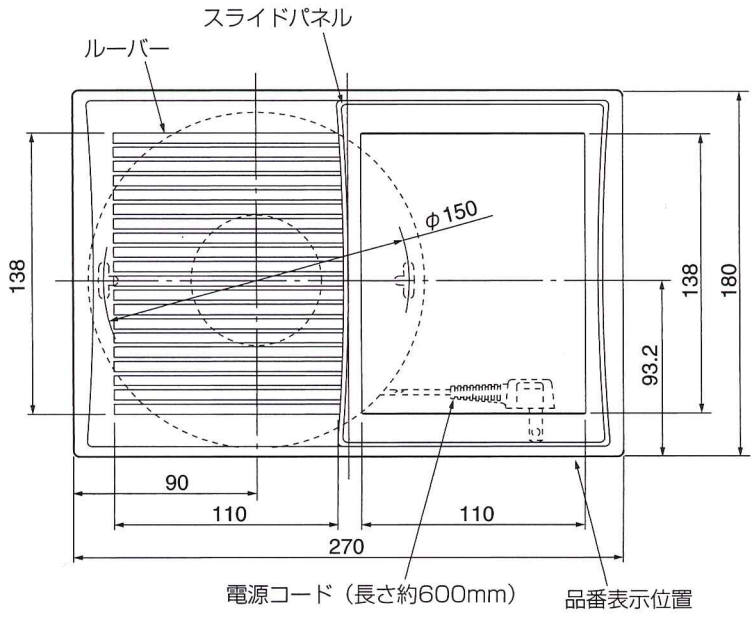
（室内側）

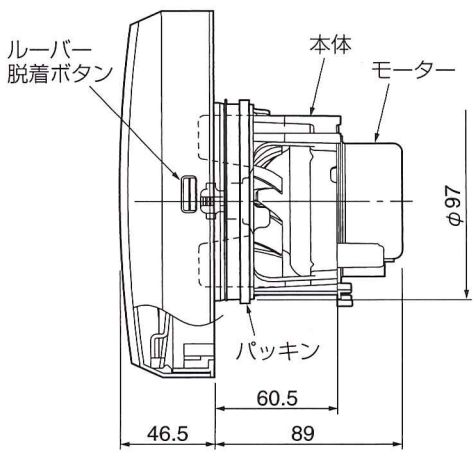
■製品取り付けの際は付属のねじで取り付けてください。

紛失したときは市販のノープラグビス（呼び4×25、なべ頭）を使用してください。

電動ドライバーは絶対に使用せず、手回しのドライバーで締め込み過ぎないように注意すること。
（ノープラグビスですが締め込み過ぎるとねじが効かなくなります。）

各部の名前と寸法　単位：mm

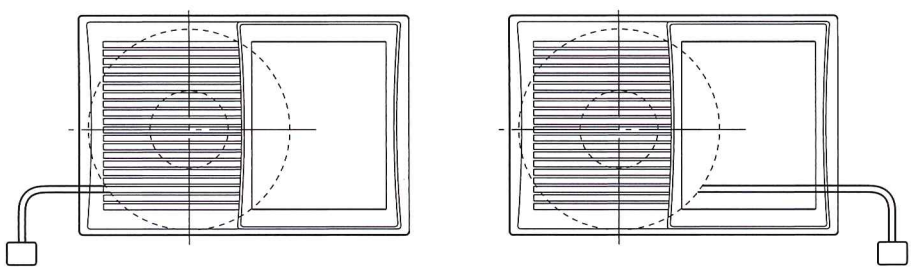




●コンセントが取り付けパイプの横に取り付けられない場合

ルーバーとベースに電源コード取出し用の切込み位置が左右にありますので、カッターなどで加工して電源コードを引き出してください。

＜左側にコンセントを取り付ける場合＞　＜右側にコンセントを取り付ける場合＞



お願い

この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

付属品

ねじ（本体に付属）……6個

取付部材

- 取り付けパイプには必ず換気パイプ[KS-V4P]（別売品）かSU100をご使用ください。
- 取り付けパイプの固定には気密フランジセット[KS-V4K100]（別売品）をご使用ください。（RC、SRCの建物を除く）
- RC、SRCの場合はパイプの変形を防ぐため、仮枠アンカー[KS-100TAP]（別売品）をご使用ください。

コンセント

- この製品は取り付けパイプの横にコンセントが必要です。
- コンセントは市販のコンセントを指定の場所にお取り付けください。

取扱説明書

- 取扱説明書と取扱説明書（本体用）は必ずお客様にお渡しください。

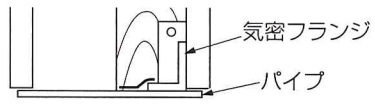
1 パイプの取り付け

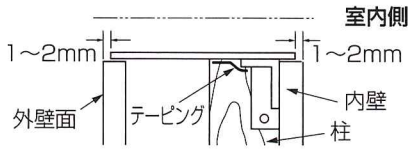
気密施工部材を必ず使用してください
　気密フランジセット[KS-V4K100]（別売品）
　換気パイプ[KS-V4P]（別売品）

パイプ取り付け高さは、なるべく床から1800～2000mmの位置に取り付けてください。

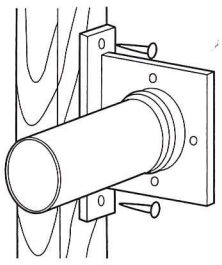
①パイプが、外壁面より1～2mm室内側に引っ込む位置で、さらに気密フランジの端面が、柱の面に合ったところでフランジ胴部にテーピングしてください。

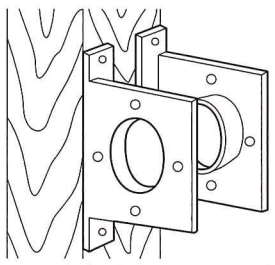
注）予め、壁厚（パイプ長さ=壁厚－3～4mm）に合わせ、パイプはカットしておいてください。





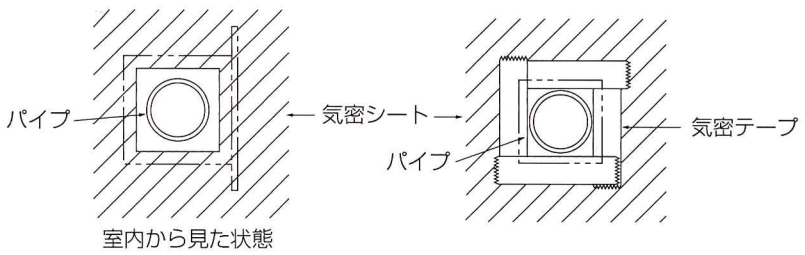
②気密フランジの端面を柱の面に合わせ、釘またはビスで固定する。





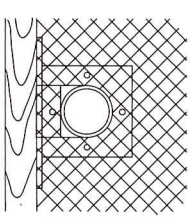
ボードを使用しない場合の気密フランジ固定（2か所）

③室内側に気密シートを貼ります。この時パイプの部分は、パイプ外径よりやや大きめ（気密フランジ外寸より1cmほど小さめがよい）に角型にカットし、フランジとの隙間がなくなる様、4辺をテーピングします。
（テープは市販の住宅用気密テープをお使いください）

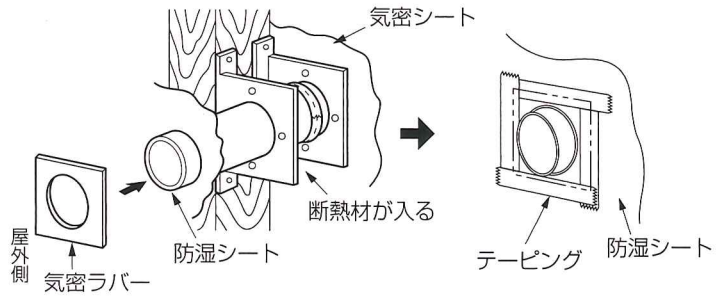


室内から見た状態

④断熱材と防湿シート施工をおこなう。

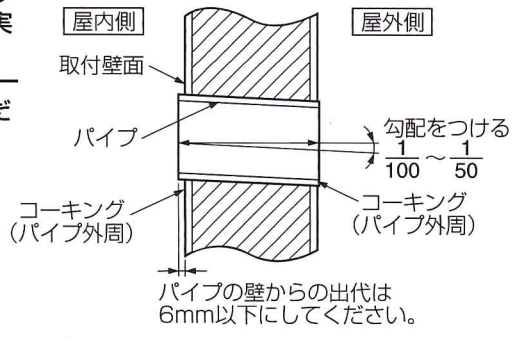


断熱材カット要領



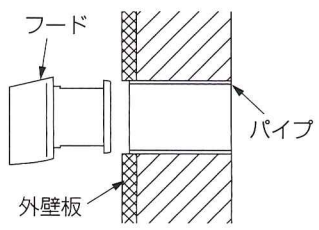
防湿シート面まで気密ラバーを入れて、4辺をテーピングします。気密ラバー内径とパイプ外径はラバーの締代がありますので、テーピングなしでもシール効果があります。

※RC、SRCの場合は、SU100のパイプに水勾配（1/100～1/50）をつけ確実に取り付けてください。
パイプの変形を防ぐため、仮枠アンカー[KS-100TAP]（別売品）をご使用ください。



2 屋外フードの取り付け

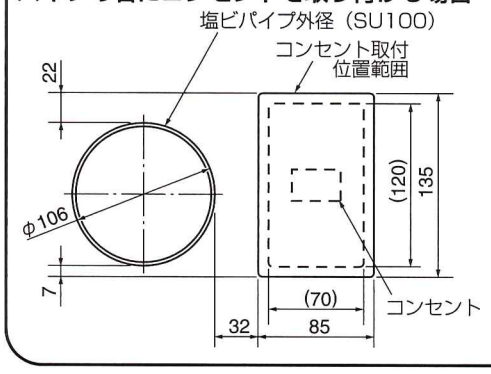
予め、穴（φ110）をあけた外壁板を取り付ける。
フード裏面の外周溝（3方向）にコーキング材を充填してから、パイプに装着する。装着後、フードと壁面に全周コーキングをおこなう。



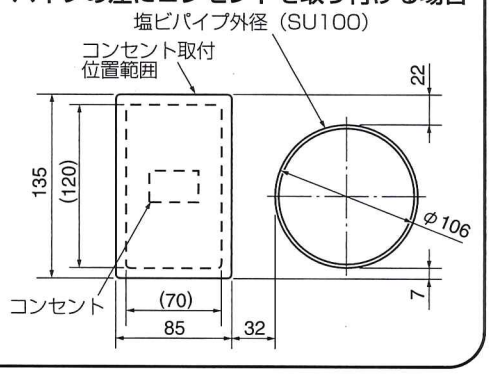
3 コンセントの取り付け

市販のコンセント（厚さ10mm未満）をパイプ横の指定位置に取り付けてください。コンセント位置がずれると製品を取り付けられない場合があります。

パイプの右にコンセントを取り付ける場合

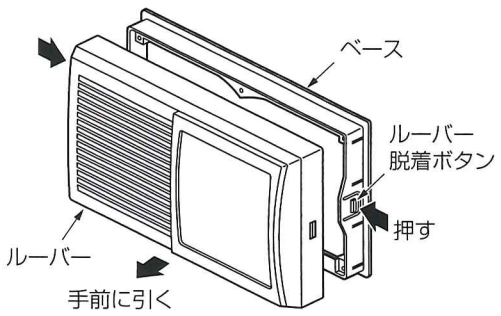


パイプの左にコンセントを取り付ける場合

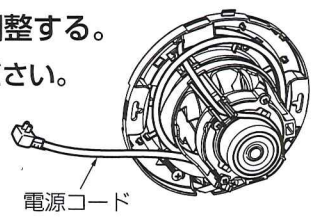


4 製品の取り付け

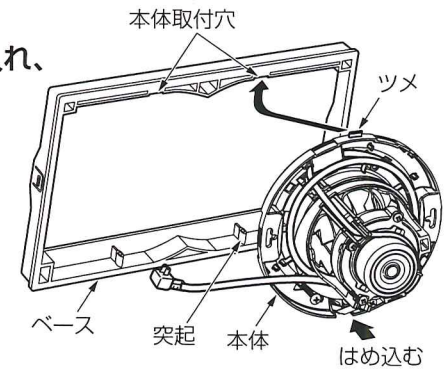
①ベースからルーバーをはずす。
左右のボタンを指先で押し込みながらルーバーを手前に引いてはずす。



②電源コードを本体の裏面におさめて長さを調整する。
■電源コードが羽根に接触しないようにしてください。

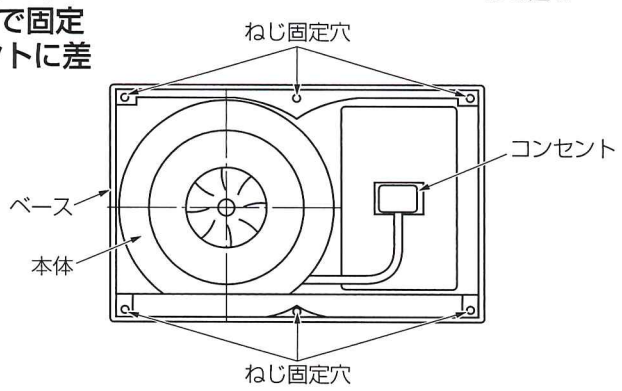


③ベースに本体を取り付ける。
本体取り付け穴に本体上部のツメを入れ、下部の突起にはめ込む。



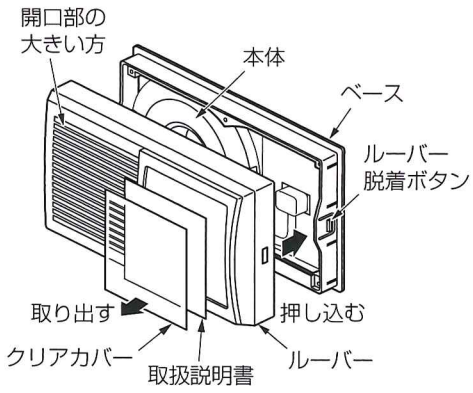
④本体の上側表示を上にしてパイプに差し込み付属のねじ6本で固定し、電源コードをコンセントに差し込む。

電動ドライバーは絶対に使用せず、手回しのドライバーで締め込み過ぎないように注意して取り付ける。



⑤ベースにルーバーを取り付ける。
（ルーバーに上下左右はありません。
コンセントの位置によりルーバーの向きを変えてください。）
ルーバーをカチッと音がするまで確実に押し込む。このとき本体正面にルーバー開口部の大きい方が重なるようにする。

※コンセント位置により取扱説明書が逆さになります。逆さの時は、クリアカバー中央部をつまみあげて取扱説明書を取り出し、上下の向きを変更してください。



5 運転確認

運転状態に異常がないか確かめる。
・羽根が回っていますか？
・異常な振動、騒音がありませんか？